

## 演習林の最近の話題

三重大学大学院生物資源学研究科  
附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附帯施設演習林

令和7年度の学生実習の多くはコロナ前の規模・日数での開催が計画されている。三重大学生物資源学部の令和6年度の改組によって、演習林を訪問し実習・演習を行う学生数がやや増加した。1年時に行う日帰りの体験演習の学生が30～40名程度増加したため、演習の実施回数を増やして対応している。また、令和6年度に入学した学生の年次があがり、令和7年度からは森林科学専修に分属した学生に対する専門的な実習がはじまる。森林科学専修の学生の人数も1～2割程度増加したため、宿泊や食事への対応が必要となっている。

令和2年度から令和6年度にかけて演習林内の作業道の延伸・拡幅工事を実施した。林業機械が進入できるエリアが拡張されたことにより、より効率的な伐採・搬出作業が可能となった。今後は維持管理を中心に進め、将来的には作業道の延長を計画している。



延伸・拡幅した作業道の必要性について実習で技術職員が解説する様子